

りんくう

# 臨空地区

(石川県輪島市)

- 計画期間 平成24年度～平成27年度
- 面積 430 ha
- 交付対象事業費 760 百万円
- 市人口 24,442 人

## ポイント

活力のあるまちづくりを目指して

## 地区概要

能登空港の利活用を促進することにより観光産業の振興や交流人口の拡大を図るとともに、臨空産業団地の整備により企業誘致の推進を図る。

## 目標

人が集い、交流が盛んな賑わいのあるまちづくり。

活力に満ちた地域産業が発展するまちづくり

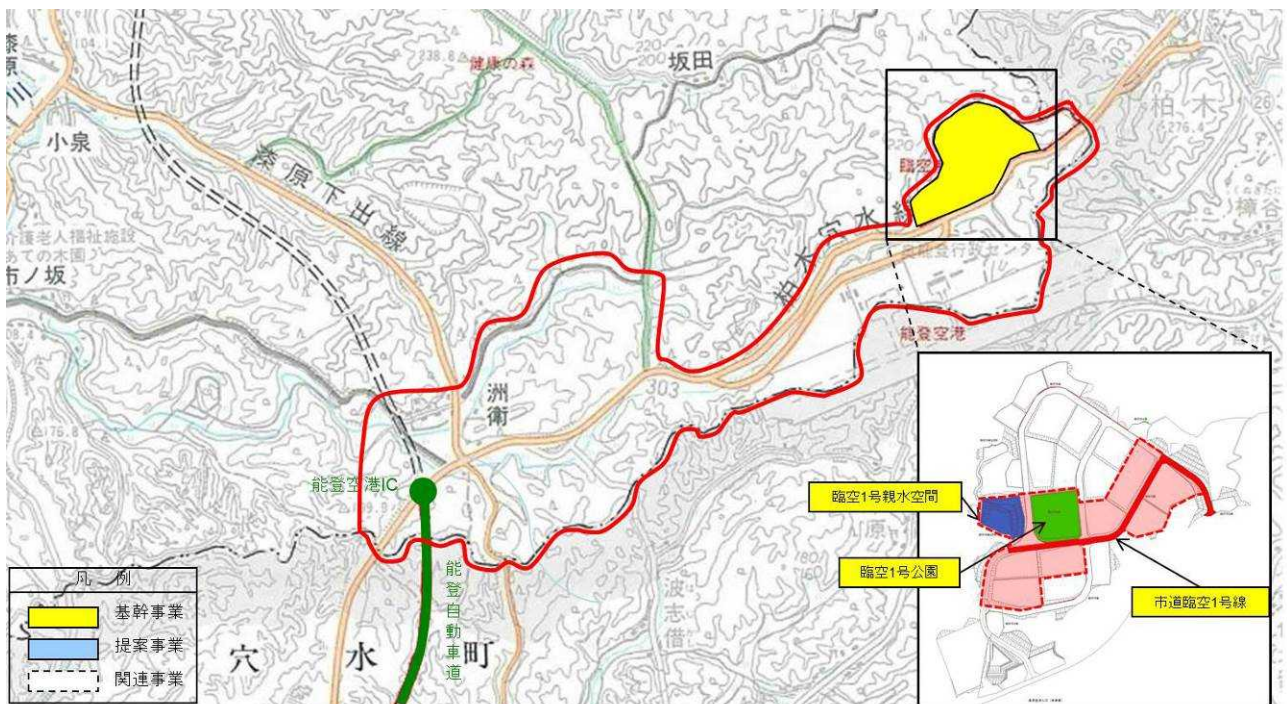
## 指標

能登空港の利活用及び企業誘致の促進を図るため、能登空港の搭乗率増加と臨空産業団地への企業進出数の増加を目標とした。

能登空港の搭乗率	55.8%/年 (H22)	→	62.0%/年 (H27)
地区内のイベント開催回数	10 回/年 (H22)	→	12 回/年 (H27)
臨空産業団地の進出企業数	3 社 (H22)	→	5 社 (H27)

## 事業内容

基幹事業 (171 百万円) → 道路 (1 路線、幅員 12.0m、延長 422m)、公園 (1 箇所)  
高質空間形成施設 (1 箇所)



## 地区の現況と課題

### 現況

地区内において平成 15 年に空の玄関口である能登空港が開港し、周辺エリアが道の駅として登録されるとともに、周辺地区の利活用及び地元雇用の拡大を目的に臨空産業団地の整備を推進してきたことにより、首都圏との交流や地域の活力が維持されていた。しかし、平成 19 年の能登半島地震や世界的な不況、さらに平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災の影響を受け、能登空港の搭乗率が減少するとともに、企業の進出に足止めがかかっている状況にある。

### 課題

能登空港の利活用を促進し、観光産業の振興や交流人口の拡大を図る必要があるとともに、臨空産業団地における社会資本の整備により、企業誘致の更なる推進を図る必要がある。



【臨空産業団地（道路） 整備前】



【臨空産業団地（道路） 整備後】

## 計画策定プロセス

本計画は、「輪島市総合計画」を上位計画とし、施策を検討している。

### 施策の検討

住民を交えた懇談会での検討や、関係機関への効率的な働きかけを行い施策の実現に努めている。

また、当該計画を社会資本総合整備計画(市街地整備)に位置づけることにより、他の基幹事業や関連社会資本整備事業、効果促進事業との一体的な整備を実施することとしている。



【能登空港周辺でのイベント】